

## 第14回 関東防災連絡会

### 【議事要旨】

#### 1. 日時

令和5年2月27日（月）14時から15時30分まで

#### 2. 場所

WEB会議システムによる開催

#### 3. 議事次第

「議事次第」のとおり

#### 4. 開会挨拶（会長：関東地方整備局長）

関東防災連絡会は、平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、首都直下地震など広域的かつ大規模な災害に対し、防災に関する機関が連携して災害対応を効果的に推進することを目的に設立し、現在58機関と多くの災害対応機関に参加いただいている。

人口・経済が集中した関東地方で、首都直下地震等の大規模災害が発生した場合には、我が国の経済・社会活動に甚大な影響を及ぼすことが危惧される。

連携による災害対応への実行性を高めるためには、災害情報の迅速かつ効率的な収集・伝達が重要な課題であり、防災分野のDXの活用など、活発な議論や意見交換のもとに、本連絡会の取り組みが行われることを期待している。

2023年は関東大震災から100年の節目の年であり、これを契機に首都直下地震をはじめとする大規模災害への備えとして、本連絡会の取り組みが災害対応の一助となり、ひいては国民の生命と財産を守り、我が国の社会経済活動の支えにつながるよう、より一層の連携強化をお願いしたい。

#### 5. 議題

##### (1) 令和4年度関東防災連絡会の取り組み報告

資料1により令和4年度関東防災連絡会の取り組みについて事務局が説明

##### (2) 令和5年度取組方針（案）

資料2により令和5年度取組方針（案）・スケジュール（案）について事務局が説明し、出席者の賛同により承認

## 6. 報告事項

### (1) 各機関からの報告

- ・ 資料 3-1 により「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震と北海道・三陸沖後発地震注意情報」について気象庁 東京管区気象台から報告
- ・ 資料 3-2 により「自然災害伝承碑の地図化を通じた災害教訓の周知・普及」について国土地理院 関東地方測量部から報告
- ・ 資料 3-3 により「UR都市機構からの報告」について（独）都市再生機構から報告
- ・ 資料 3-4 により「南海トラフ巨大地震 関東ブロック地域対策計画検討部会」について国土交通省 関東地方整備局から報告

## 7. その他

- ・ 関東防災連絡会の趣旨のひとつとして、連携した取り組みを行うことだと認識している。関東大震災から100年に関する取り組みや各機関主催の防災訓練等においても、各機関で横の連携を取りながら進めてほしい。（会長：関東地方整備局長）
- ・ 関東防災連絡会を通じて、各機関の防災対応力と合わせて、国民に正確に情報が伝わり、適切な防災対応をとれるような仕組みを強化できればいいと思う。（会長：関東地方整備局長）

## 8. 閉会挨拶（副会長：関東運輸局長）

令和4年度を振り返ると、全国各地での記録的な大雨による災害や日本海側での大雪、また、海外では3月6日にトルコ・シリアで多くの方が犠牲となった大規模地震が発生した。

近年の自然災害は、頻発化・激甚化・広域化している。こうした自然災害に対し、各機関が連携して防災対策を効果的に推進するうえで、日頃から顔が見える関係を構築しておくことは非常に重要である。

この関東防災連絡会がその関係を構築する場となり、効果的な防災対策を行うことにより国民の生命・財産の保護につながるよう、より一層の体制強化のための協力をお願いしたい。

以上